

# 夢甲斐塾14期生入塾式&13期生出発式

平成26年7月12日(土) 差出の磯大嶽山神社

本日ご多忙の中、入塾式&出発式にご出席賜り、誠にありがとうございます。  
心配された台風も大きな影響もなく過ぎ去り、このような好天の中、入塾式、出発式を開催できますことをとても嬉しく思います。

夢甲斐塾は7月より新年度に入り、本日15名の新たな同志をお迎えすることとなりました。「山梨のために頑張る」「自分自身の目標のために頑張る」「〇〇で日本一になる」と個人の目標は様々ですが、それぞれ志高いメンバーたちばかり。入塾式ではそれぞれの「思い」を発表頂きますので、先輩塾生のみなさんは、ぜひその思いをお聞きください。また、午後には一年間の活動を終えた13期生が出発式を迎えます。一年間で学んできたことをこれから実践していく13期生。それぞれの「決意」を発表させて頂きます。こちらどうぞ楽しみにしてください。本日は16時までの長丁場となります。『水分補給をこまめにとる』『直射日光は避ける』などの熱中症対策をしっかり行ってください。

本日の会場は歴史のある『差出の磯大嶽山神社』をご提供頂きました。この入塾式&出発式をここで行わせて頂くにあたり、いろいろ学ばせて頂いたことを書き記させて頂きます。夢甲斐塾生同志でともに学ばせて頂きましょう。最後になりますが、この会場を快くご提供頂き、何度も事前打ち合わせにご協力頂きました14期生の松田公仁さんに深く感謝申し上げます。

夢甲斐塾14期生募集委員会  
& 13期生(加藤・望月恵美子・上松)

1. 差出の磯(さしでのいそ)について
2. 差出の磯大嶽山(だいたけさん)神社について
3. ここは『関東富士見百選』選定地
4. 山梨市について
5. 笛吹川について
6. 万力林について

## 1. 差出の磯(さしでのいそ)について

山梨県山梨市の中心部・笛吹川沿い万力公園の北東部、兄川・弟川の南に位置している岩山と河川。川側から見ると差し出ており、内陸部にありながら海辺の磯のように見える所から名付けられました。この鎮座地の山は大きな一枚岩であり、暴れ川である笛吹川の水害を防ぐ自然の堤防としての重要な役割を果たしています。

## 「しほの山 差出の磯に 住む千鳥 君が御代をば 八千代と鳴く」 (古今和歌集)

古くは平安期に書かれた古今和歌集にも登場しているこの地。句にある「しほの山」は塩山の地名の由来となった「塩の山」を指しています。古今和歌集をはじめ、近代まで40数首の句がうたわれています。

## 塩の山 差出の磯の 山の家 たまもましの 蟹の筍ふき(鴨長明「方丈記」) 闇の夜や 巢をまとはして 啼千鳥(松尾芭蕉) いにしへの差出の磯を破らじと笛吹川の身を曲ぐるかな(与謝野晶子)

江戸時代には松尾芭蕉が、昭和初期には与謝野晶子夫妻がこの地を訪れています。



## 2. 差出の磯大嶽山(だいたけさん)神社について

### 御祭神

大山祇神、大雷神、高禰神

金比羅神

国常立尊、大己貴命、少名彦命

室町時代の文安五年には甲府盆地で大規模な干ばつが起きた時に、この地で雨乞いの神事をしたところ車軸の如く雨が降り喜んだ人々が塔を寄進したとされています。表参道の笛吹川沿いの道は旧青梅街道・秩父往還道が交差し賑わっており山梨の主要街道でした。現在4月29日の例祭には1万人を越す参拝者があり、山梨県峡東地域最大のお祭りとして知られています。

主祭神である神々は厄除・方位除・健康(病気除け)や、また真剣な勝負事を祈願する人も多い。大山祇神は伊邪那美命・伊邪那岐命の子であり木花咲耶姫命の親神であり、また最初に甜酒(あめのたむけざけ)を造ったことから酒造の神と言われる。金毘羅神は金運・商売・交通の神であり、国常立命・大己貴命(大国主命)・少彦名命は万物創世、縁結び・子宝、長寿・知恵授けの神である。配神として蚕影山大神を常陸国の蚕影山神社より御神霊の勧請を受け祀り、山梨県峡東地区は大養蚕地帯でありこの神社が信仰の中心でした。

当神社では主祭神の御神徳に授かり厄除祈願や健康祈願、また表参道の旧青梅街道や秩父往還の要所の守り神であったことから交通安全の参拝者も多く訪れます。



### 3. ここは『関東富士見百景』選定地

2005年(平成17年)、国土交通省関東地方整備局が選定した『関東富士見百景』管轄する1都8県で富士山の眺望が良好な場所として128景233地点が選ばれています。

#### 【内訳】

- ①茨城県 7景7地点 ②栃木県 8景8地点 ③群馬県 6景6地点  
④埼玉県 14.5景17地点 ⑤千葉県 15景26地点 ⑥東京都 16.5景30地点  
⑦神奈川県 24景49地点 ⑧長野県6景9地点 **⑨山梨県 31景81地点**  
と管内では「富士山の眺望がいい場所」として最多の数を誇っています。

【ここでクイズ!!】 山梨の『関東富士見百景』選定地からの眺めです。  
あなたはいくつわかるかな？



①郡内です。



②3月例会を行った場所です。



③ツツジの群生地



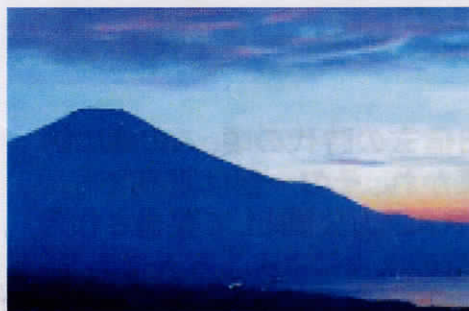
④まさに今いる場所



⑤銅像はポールラッシュ博士



⑥ラベンダー畑で有名



⑦この湖は富士五湖最大面積



⑧1000円札の裏を見てみて!!



⑨ダイヤモンド富士で賑わう

正解は受付に貼ってあります。

## 4. 山梨市について

右の表は平成26年6月1日現在の人口統計です。

山梨市の総人口は35,522名、人口の多い順では27市町村中8番目となります。総面積は289.87平方kmで山梨県内では4番目の広さを誇ります。

西部から南部にかけては甲府市及び笛吹市、東部は甲州市、北部は埼玉県秩父市及び長野県川上村にそれぞれ接し、都心から約100km圏、JR中央線、中央自動車道で90分という交通の利便性に恵まれています。地形的には、笛吹川沿い南北につながり、北部は山岳・丘陵地帯、南部は笛吹川左岸に平坦地、右岸は平坦地から丘陵地帯が広がっています。面積の8割を森林が占め、笛吹川とその支流の琴川、鼓川、日川、重川などがもたらす肥沃な土地の恩恵を受け、なだらかな斜面や平坦地に広がる桃・ぶどうの果樹園は、美しい景観をおりなすとともに、県内有数の生産量を誇っています。2005年3月22日、近隣の牧丘町、三富村を合併し、2015年3月には合併10周年を迎えます。

	人 口		
	総数	男	女
甲府市	194,356	95,266	99,090
富士吉田市	49,032	23,944	25,088
都留市	32,932	15,761	17,171
山梨市	35,522	17,050	18,472
大月市	26,060	12,692	13,368
韭崎市	31,397	15,576	15,821
南アルプス市	71,361	35,083	36,278
北杜市	45,983	22,310	23,673
甲斐市	73,864	36,337	37,527
笛吹市	69,424	33,508	35,916
上野原市	25,503	12,721	12,782
甲州市	32,269	15,443	16,826
中央市	30,684	15,214	15,470
市川三郷町	16,103	7,781	8,322
早川町	1,102	568	534
身延町	12,982	6,218	6,764
南都町	8,294	4,004	4,290
富士川町	15,505	7,466	8,039
昭和町	18,879	9,551	9,328
遺志村	1,798	905	893
西桂町	4,354	2,093	2,261
忍野村	8,800	4,729	4,071
山中湖村	5,222	2,530	2,692
鳴沢村	2,925	1,402	1,523
富士河口湖町	25,637	12,582	13,055
小菅村	707	337	370
丹波山村	600	298	302
	841,295	411,369	429,926



川中島の合戦や花火大会が行われている笛吹市役所前の笛吹川は1907年以降のもの

## 5. 笛吹川について

山梨市北部の甲武信ヶ岳・国師ヶ岳を水源とし、富士川町で釜無川に合流するまでの46.5キロの富士川系一級河川。最上川(山形県)、球磨川(熊本県)とともに日本三大急流のひとつである笛吹川は、地形が急峻なため、梅雨、台風の季節に洪水が起こりやすくなっている。

1907年(明治40年)8月に発生した『明治40年の大水害』と呼ばれる洪水は山梨県内に大きな被害をもたらし、流れをも変えました。それまでの流路は現在よりも7キロ西。現在、市役所の前を流れている川は100年前にはありませんでした。当時は笛吹橋付近から現在の温泉街を抜け、甲府市と旧石和町境にある平等川と同じ流路をたどり、旧中道町北東の白井河原橋で現在の笛吹川に戻っていたそうです。

## 6. 万力公園(万力林)について

笛吹川は同公園付近で度々洪水を起こし、甲斐国を治めていた武田信玄の時代の頃、この地に防水林として赤松が植えられたと伝わり、同時期に雁行堤防(霞堤)も築かれ、その一部は現在でも残っている。こうして出来た防水林は万力林と呼ばれるようになり、近代に入り公園として整備され万力公園となった。「万力」という地名は防水林や雁行堤防を作った当時の人々により、「万人の力を合わせ強固な堤を造り守っていく」という願いを込め名付けられました。

敷地面積は約14haで、比較的平坦地であるにも関わらず耕地化、宅地化されずに防水林として長年維持され、前述した赤松を中心とした雑木林が残っている。公園敷地は笛吹川右岸に沿うような細長い形状になっており、公園の北端には笛吹川の水を引いた人造湖「ちどり湖」が設けられ、湖から流れ出す小川が公園内の雑木林を流れています。

～プレイバック～  
13期の活動  
2013.7～2014.6

**入塾式**

平成25年7月7日(日)甲府市武田の杜にて行われた入塾式。夢甲斐塾生としての一步を踏み出しました。



**8月例会**

昭和町彩の広場にて行われた8月例会。夢甲斐塾生としての心構えを学びました。例会では私の志を5分間スピーチで発表。時間を意識して発表することを学びました。

**9月例会**

13期で初めて企画した9月塾長例会。夢甲斐塾発足の際に、塾長として上甲先生を山梨県にご推薦頂いた倉嶋笛吹市長にもご出席賜りました。



**10月例会**

いちのみや桃の里ふれあい文化センター行われた10月例会。11月に行われる市民フェスタの役割分担決めと今後の例会運営をテーマに話し合いを行いました。

**10月 郷育フォーラム2013**

夢甲斐塾が出展しているブースのお手伝い。まずは自分がやってみることを実践しました。



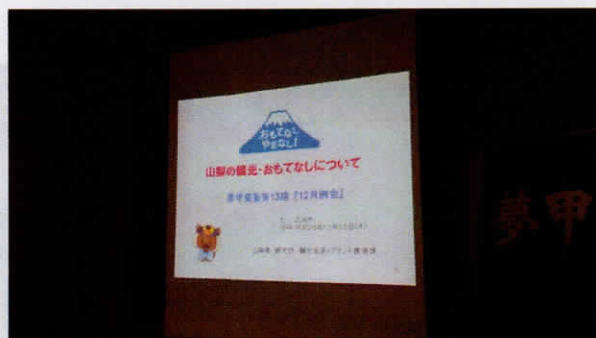


## 11月例会

甲府市総合市民会館で行った11月塾長例会。13期の活動状況報告を行いました。誕生日をお迎えになった上甲塾長に13期でプレゼントをお渡しさせていただきました。

## 11月 市民フェスタ

小瀬で行われた市民フェスタに13期で出店し、鳥もつを作り、販売しました。あまり人が通らない厳しいロケーションだったため、公園内を13期で売り歩き、見事完売することができました。販売日前日には近隣の住宅地にもポスティングをするなど、記憶に残るイベントになりました。



## 12月例会

花水木に山梨県庁観光部観光推進グループの小泉様を講師に迎え、山梨県が行っている「おもてなし条例」について学びました。終了後には会場となった花水木で、忘年会を華やかに行いました。

## 1月例会

甲府南公民館で行った1月塾長例会。山梨県で作られている食材にこだわった料理を塾生に振舞いました。先輩塾生からも「美味しい」と高い評価を頂くことができました。七草粥の七草を刻む作業を上甲塾長と奥様に行って頂きました。



## 2月例会

甲府北公民館に先輩塾生2名(白倉さん、保坂さん)をお迎えし、夢甲斐塾生としてあるべき姿を講話して頂きました。半年が経過していることもあって、講話終了後には数多くの質問がありました。

### 3月例会

身延山で行った3月例会は1泊2日の宿泊例会。朝、大阪のご自宅から来られた上甲塾長でしたが、旅の疲れも見せず、塾生よりも早いペースで山頂まで登られました。山頂で頂いたコーヒーは格別でした！！



### 4月例会

この例会は富士吉田市での開催。地元の食材を使った美味しく、楽しい例会となりました。めったに食すことができないシカ肉を使った料理を振舞わせて頂きました。普段はなかなか参加が難しい郡内の塾生も多く参加してくれました。

### 5月公開例会

夢甲斐塾の魅力をどのように伝えようかと13期生で一番多くの打ち合わせを行いました。これまで活動してきたことをパネル展示したり、実演させて頂きました。14期のみなさん、伝わりましたでしょうか？



### 山チーム(山甲斐塾)

山梨にある百名山に登る！！を合言葉に始まった山甲斐塾。山梨の魅力である『山』を自らが登ってこそ、魅力を発信できるとして定期的に登っています。百名山踏破まであとどのくらいの日数がかかるかはわかりませんが、完全踏破を目指して頑張ります。

### 食チーム

山梨で採れる食材にこだわり、山梨県内あちこちの素材を集めては「山梨でこんな食材があるんだね」「こんな食べ方もおいしいよね」など様々な意見が飛び交いました。楽しくおいしい活動をする事ができました。

## 【先輩塾生と14期生のみなさまへ】

2013年7月に13期生として入塾し、早いもので本日出発式を迎えます。

13期は『山梨の魅力発見！！』というテーマのもと、山梨の味を伝える『食チーム』と山梨の百名山に登り、魅力を自らの体験を交えて伝える『山チーム(山甲斐塾)』で活動を行って参りました。

本日は私たちの活動を温かく見守ってくださった先輩塾生に感謝の気持ちと、これから夢甲斐塾生として活動されていく14期のみなさんへのエールを込めて、ささやかではございますが、山梨県産の食材にこだわった『豚汁』をお召し上がりいただきたいと思ひます。また、13期生小林久人さんの茶畑で採れたお茶もお召し上がりいただきたいと思ひます。小林さんのお茶づくりに賭ける思いについては下記をご覧ください。



## 小林久人さんのお茶

13期生として入塾。神奈川県座間市に住みながらも「なかなか例会出れなくて悪いから行くよお」と仕事終わりに電車で飛び乗り、夜の運営会議にも出席しては周囲をビックリさせてくれました。今日は小林さんの作ったお茶をお召し上がり頂くにあたり、日頃作っている小林さんのお茶づくりに賭ける思いを聞かせて頂きました。(聞き手 13期上松裕之)

### 小林さんがお茶を作るきっかけって何だったんですか？

もともとは親父がお茶を作っていたんだけど、親孝行をしようと思った矢先に両親がなくなってしまうね…。今はこの親父が守ってきたお茶を作り続けていくことが、せめてもの親孝行だと思ってるね。

### 茶畑ってどこにあるんですか？

下部町折門 御弟子という部落にあるんだ。面積はよくわからないんだけど、毎年200キロくらいのお茶を摘んで、そのうち50キロくらいがお茶になるんだよ。御弟子部落も今では廃村になってしまっているんで、村の茶畑を全部みているんだ。

### 神奈川に住んでいるのに、大変ではないですか？

なかなか帰ることができていないんだけど、兄弟姉妹や、市川三郷町のいとも手伝ってくれるので、助かってるよ。お茶を作ることで、こうやって親族が集まれるっていうのも嬉しいことだね。両親に感謝だよ。

### このお茶づくりに賭ける小林さんの思いを聞かせてください。

今は遠くで暮らしているけど、この茶畑に来て、お茶を作っているとさ、おやじとおふくろ、村の人が今でも生きてるような気がするんだよ。おやじが大事にしてきた茶畑を守っていくことが僕の使命だと思うし、親孝行できているような気がする。これからはおやじがずっと大切にしてきた、無添加、無農薬のお茶を作り続けていくつもりだよ。

